

令和6年5月

魚津市定例記者会見



日時：令和6年5月1日(水) 午後1時30分～午後1時50分

場所：市役所 第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、チューリップテレビ
NICE-TV、ラジオミュウ

市当局出席者：市長、情報広報課長

【市長からの発表事項】

1. 第12回よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり

(商工観光課)

「魚津が踊り出す！」を合言葉に、まちに賑わいを創出しようと、子供から大人まで幅広い世代が参加するこのイベントも、今回で第12回の開催を迎える。昨年よりもチーム数も増えており、天気にも恵まれて賑やかな祭りになればと考えている。えきてんは、利用者の利便性を考え場所を変えて市役所前公園で開催することとなっている。

2. MiraPay アプリ現金チャージキャンペーン

(商工観光課)

“MiraPay アプリ現金チャージキャンペーン”とは、MiraPay の利用促進と市内消費意欲を高め地域経済の活性化を図り、今後 DX 化の1つとして行うデータ分析の精度を上げるため、期間中に MiraPay アプリのプロフィール登録者が現金チャージした場合、最大10%のコインを還元するキャンペーン。プロフィール登録により利用者の属性がわかるため、このような購買データを今後の取組に活かしていきたい。予算枠もあるため、上限を3000コインとした。

3. 魚津の農林水産業 体験・応援プロジェクト 親子体験会

(農林水産課)

今年度も、魚津の農林水産業を親子で学ぶ「親子体験会」を、6つのコースで1年間にわたり行う。対象は、市内小学生とその保護者で、4月12日～22日に各コースの参加者を募集したところ、毎年人気があり、親子70組(140名)の定員に対し、親子95組(190名)からの申込があった。感謝申し上げたい。5月は、「やさしい」、「田んぼ」、「くだもの」の3つのコースでそれぞれの体験会がスタートする。

4. とやま森の祭典2024

(農林水産課)

富山県と公益社団法人 とやま緑化推進機構の主催で、「とやま森の祭典2024」が、魚津桃山運動公園で開催される。清流小学校と星の杜小学校から「魚津花とみどりの少年団員10名が参加し、記念植樹の介添えを予定している(その他イベントの紹介)。

5. みらパーク音楽会2024

(都市計画課)

今年のテーマは「BORDERLESS MUSIC」。ノンジャンルの多種多様な音楽を年齢、性別、アマチュア・プロ問わず、さまざまな垣根をこえ、皆で一緒に楽しもう！という主旨で開催する。他には保育士のたまごの学生もきてくれ、キッズパークも開催する。

6. UO! SPO! ~Women's Festa 2024~ 高尾美穂クリニック

(生涯学習・スポーツ課)

女性のライフスタイルに適したスポーツ実践と健康に関する講演会を開催し、女性が自ら生き方や暮らし方を選択するための情報を提供することとしている。講師には産婦人科専門医でヨガやスポーツ医学にも精通する、高尾美穂さんをお招きする。テレビなどでもよくご出演しておられ、「女性とスポーツ」を一つのテーマとして、全国各地で講演会を開催されている。もう少し余裕があるので、ぜひ多くの皆さんの参加をお待ちしている。

7. 令和6年度 水の学び舎ツアー

(生活環境課)

毎年実施しているが、魚津の特徴である「水循環」を、このようなツアーを通じて、しっかりアピールしていきたい。今年度は合計8回開催。親子でのツアーも予定している。是非多くの市民の皆様にご参加いただきたい。

8. 大町 VS 村木 綱引き合戦!!

(地域協働課)

地域振興事業の一環となるが、魚津市内でも高齢化率が高い大町と村木で、地域間で連携した取組をやろうと、かねてから考えておられた。今回はその一環で綱引き合戦をやることになり、楽しみにしている。老いも若きも集まって綱をひく楽しいイベントにしていきたい。

【質疑応答の内容】

○「市長3期目」について

《記者からの質問》

3期目を迎えての意気込みを聞かせてほしい。

《回答》（市長）

これまで準備してきた取組が動き出すタイミングになるので、3期目は、市民の皆様に、新しい魚津や活気を感じていただけるような市政運営になるよう頑張っていきたい。

《記者からの質問》

人口推計が発表されたが、魚津市の人口減少についての見解を聞かせてほしい。

《回答》（市長）

やはり厳しい状況であると認識している。同じ釜の中の米粒を取り合うような話をしても仕方がない。魚津特有の資源（観光・産業含め）を活かして、いかに若者、特に女性が働けるようなエリアを増やしていくか、民間の皆様と全力で取り組んでいきたい。そうしないと、結婚やお子さんにつながらないので、そのベースとなる働くという選択肢を増やすための取組をしっかりとやっていきたい。

《記者からの質問》

3期目を迎えて、ハコモノ事業、特に新庁舎や水族館の整備を財政が厳しい中でどうやって進めていくのか伺いたい。

《回答》（市長）

市庁舎についてはやはり必要と考えている。どういった規模・機能にするかをよく考えないといけない。人口減は見えている中で、DXのように行政サービスの提供の仕方、役所に来なくても申請ができる、といった分野も増えていく。職員の働き方も変わっていく。そういったことを考慮してどういった規模の庁舎を作るのか、ある程度の将来スパンを見据えて考えていく必要がある。従来から70億という数字があがっているが確定した数字ではない。解体費も含めて庁舎を統合した場合の当時の試算。行政サービスのあり方を踏まえて規模等を検討していく。財源については基金を計画的に積み上げており計画どおりに進んでいるが、庁舎の中身ありきの数字なので過剰な負担とならないよう考えていきたい。

水族館は、どういう水族館にするかはこれからである。水族館単体だけではなく、魚津は水族館があるまち、なので水族館を活かしたまち作りをどうプランニングするかを今年度考えていく。

○「市議選の投票率」について

《記者からの質問》

市議選の投票率が50%を割ったことについて見解を伺いたい。定数削減など考えないといけないところにきていると思うが、市長の見解をお聞きしたい。

《回答》（市長）

市議選の投票率が50%をいかないというのは問題だと思っている。2人に1人は投票に行かないということ。従来は若い世代の投票率が低いと言ってきており、今回もそうだが、ここまできると若い世代の投票率という話以上に、全体として投票率を上げる環境作りに踏み込んでいかないと、待っているだけでは、おそらく投票率は上がらないと思っている。今回も投票率を上げる工夫をしていこうと話していたが思いきった取組はできなかったもので、次回に向けて問題意識を持って考えていきたい。